

平成26年3月期 決算短信補足資料

◇ 平成26年3月期 連結業績の総括	P.2
◇ 平成26年3月期 セグメント情報	P.3
◇ 平成26年3月期 連結財政状態	P.4
◇ 平成26年3月期 連結業績のポイント	P.5
◇ 平成26年3月期 キャッシュ・フロー	P.6
◇ 平成27年3月期 次期の見通し	P.7
◇ 主力商品紹介	P.8

平成26年3月期 連結業績の総括

■売上高■

競合他社との販売競争激化などにより計画は下回ったものの、主力のハム・ソーセージ部門や食肉事業の売上高が堅調に推移したことから、前年比3.2%の増収。

■営業利益■

食肉事業は黒字となりましたが、原材料及び燃料価格の高騰などにより、前年比△13.7%の減益。

■当期純利益・配当■

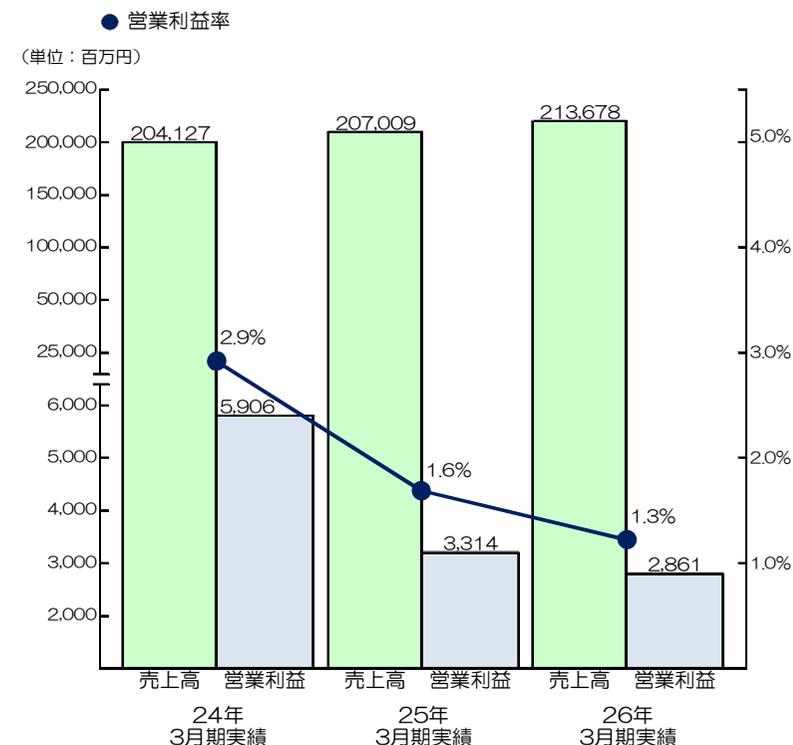
当期純利益は、前年比△15.0%の減益。
配当は、1株当たり7円を予定。

(単位:百万円)

	25年3月期 実績	26年3月期 計画	26年3月期 実績				
				対前年 増減額	対前年 増減率	対計画 増減額	対計画 増減率
売上高	207,009	217,000	213,678	6,669	3.2%	△ 3,321	△ 1.5%
営業利益 (売上高比率)	3,314 (1.6%)	3,000 (1.4%)	2,861 (1.3%)	△ 452 (△0.3%)	△ 13.7%	△ 138 (△0.1%)	△ 4.6%
経常利益 (売上高比率)	3,607 (1.7%)	3,300 (1.5%)	3,079 (1.4%)	△ 528 (△0.3%)	△ 14.7%	△ 220 (△0.1%)	△ 6.7%
当期純利益 (売上高比率)	2,029 (1.0%)	1,500 (0.7%)	1,726 (0.8%)	△ 303 (△0.2%)	△ 15.0%	226 (0.1%)	15.1%
1株当たり 当期純利益	15.63円	11.55円	13.29円	△2.34円	-	1.74円	-
1株配当	8円	8円	7円	△1円	-	△1円	-
配当性向 (%)	51.2%	69.3%	52.7%	-	-	-	-

※計画:平成25年11月11日発表連結業績予想

売上高と営業利益の状況



(単位:百万円)

	25年3月期 実績	26年3月期 実績		
		対前年 増減額	対前年 増減率	
加工食品事業	148,904	150,193	1,289	0.9%
ハム・ソーセージ	87,756	89,540	1,784	2.0%
調理加工食品	61,147	60,652	△ 495	△ 0.8%
食肉事業	57,718	63,119	5,401	9.4%
その他	386	365	△ 21	△ 5.5%
売上高	207,009	213,678	6,669	3.2%
加工食品事業 (売上高比率)	3,221 (2.2%)	2,599 (1.7%)	△ 621 (△0.5%)	△ 19.3%
食肉事業 (売上高比率)	△ 83 (△0.1%)	61 (0.1%)	145 (0.2%)	-
その他	177	200	23	13.2%
営業利益 (売上高比率)	3,314 (1.6%)	2,861 (1.3%)	△ 452 (△0.3%)	△ 13.7%

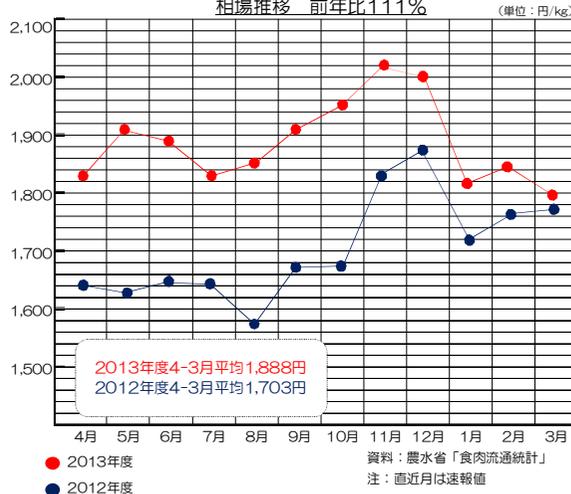
■加工食品事業■

- ・ハム・ソーセージ部門は、主力商品の「燻製屋熟成あらびきウインナー」を中心に積極的な売上拡大に努め、ソチオリンピック日本代表選手団を応援する「がんばれ！ニッポン！スマイルキャンペーン」などの販売促進キャンペーンを実施し売り場の活性化を図りました。中元・歳暮ギフトは、主力ブランド「王覇」「煌彩」を中心に内容の充実を図りました。以上により、当部門の売上高は前年比2.0%の増収。
- ・調理加工食品部門は、韓国風チゲ「スンドゥブ」シリーズのラインナップ拡大、「ビストロ倶楽部ビーフカレー」や「宇都宮焼餃子」などの新商品の投入により、積極的な売上拡大に努めました。しかしながら、コンビニエンスストア向けの商品が低調に推移したことなどから、当部門の売上高は前年比△0.8%の減収。

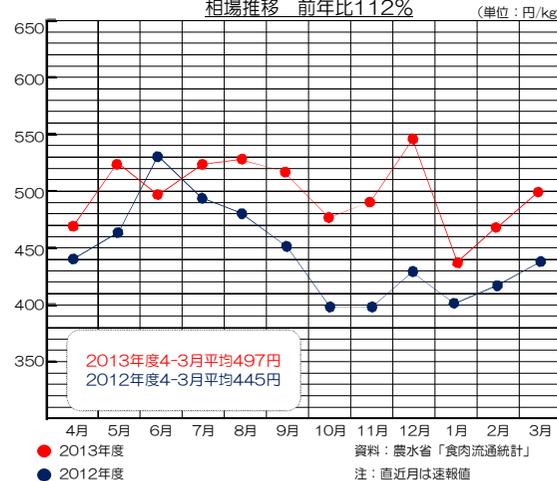
結果、当セグメントの売上高は前年比0.9%の増収。
営業利益は、コスト削減に努めたものの原材料及び燃料価格の高騰や競合他社との販売競争激化などから、前年比△19.3%の減益。

資料：枝肉規格別卸売価格動向

和牛枝肉の規格別卸売価格動向
去勢和牛A4（東京市場）
相場推移 前年比111%



国産豚枝肉の規格別卸売価格動向
上物（東京市場）
相場推移 前年比112%



■食肉事業■

- ・豚肉は、国産豚肉の売上拡大に努めました結果、売上高は伸長しましたが、供給量の減少による相場の高騰から、仕入コストが上昇するなど厳しい環境で推移。
- ・牛肉は、販売価格の緩やかな上昇など回復傾向のなか、国産牛肉並びに米国産牛肉の売上拡大に努めました結果、売上高は堅調に推移。

結果、当セグメントの売上高は、前年比9.4%の増収。
営業利益は、61百万円の黒字。

平成26年3月期 連結財政状態

(単位:百万円)

	25年3月期 実績	26年3月期 実績	対前期末 増減額
現金及び預金	11,064	14,897	3,833
売上債権	24,994	23,145	△ 1,848
棚卸資産	14,445	13,661	△ 783
その他の資産	2,191	1,860	△ 330
流動資産合計	52,695	53,566	870
有形固定資産	50,462	49,839	△ 623
無形固定資産	1,625	1,290	△ 335
投資その他の資産	18,064	15,997	△ 2,066
固定資産合計	70,152	67,127	△ 3,024
資産合計	122,848	120,693	△ 2,154

	25年3月期 実績	26年3月期 実績	対前期末 増減額
仕入債務	19,907	19,547	△ 360
有利子負債	20,239	18,620	△ 1,618
その他の負債	12,588	13,949	1,360
負債合計	52,736	52,117	△ 618
株主資本	65,735	66,416	680
その他の包括利益累計額	2,816	575	△ 2,241
少数株主持分	1,560	1,585	25
純資産合計	70,112	68,576	△ 1,535
負債純資産合計	122,848	120,693	△ 2,154

■設備投資・減価償却費の状況

(単位:百万円)

	25年3月期 実績	26年3月期 実績	対前年 増減額
設備投資	5,695	4,967	△ 727
減価償却費	5,906	5,608	△ 297

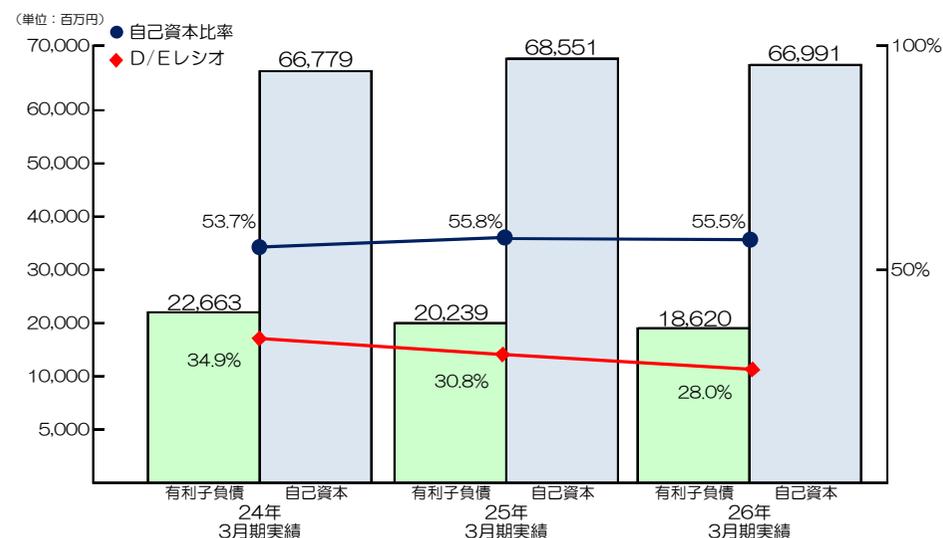
※有利子負債 = 借入金 + リース債務

(単位:百万円)

	25年3月期 実績	26年3月期 実績	対前年 増減額
自己資本	68,551	66,991	△ 1,560
自己資本比率(%)	55.8%	55.5%	△0.3%
D/Eレシオ(%)	30.8%	28.0%	△2.8%

※D/Eレシオ = 有利子負債 ÷ 株主資本

有利子負債・自己資本・自己資本比率・D/Eレシオの状況



◆総資産は、受取手形及び売掛金や原材料及び貯蔵品が減少したことなどから、前期末比△2,154百万円減少。

◆負債は、退職給付に関する会計基準の改正による退職給付に係る負債の計上がありました。有利子負債の減少などから、前期末比△618百万円減少。

◆純資産は、退職給付に係る調整累計額の計上、剰余金の配当金の支払いなどから、前期末比△1,535百万円減少。

◆以上の結果、自己資本比率は、前期末比△0.3%減少したものの、D/Eレシオは、△2.8%低下。

◆設備投資は、前年比△727百万円減少の4,967百万円を実施。

平成26年3月期 連結業績のポイント

増 減 要 因

(単位:百万円)

	25年3月期 実績	26年3月期 実績		
			対前年 増減額	対前年 増減率
売上高	207,009	213,678	6,669	3.2%
売上総利益 (売上高比率)	50,468 (24.4%)	49,690 (23.3%)	△ 777 (△1.1%)	△ 1.5% -
販売費及び一般管理費 (売上高比率)	47,153 (22.8%)	46,829 (21.9%)	△ 324 (△0.9%)	△ 0.7% -
営業利益 (売上高比率)	3,314 (1.6%)	2,861 (1.3%)	△ 452 (△0.3%)	△ 13.7% -
営業外損益	293	217	△ 76	-
営業外収益	1,018	883	△ 135	-
営業外費用	725	666	△ 59	-
経常利益 (売上高比率)	3,607 (1.7%)	3,079 (1.4%)	△ 528 (△0.3%)	△ 14.7% -
特別損益	△ 901	△ 39	862	-
特別利益	59	538	479	-
特別損失	960	577	△ 383	-
税金等調整前当期純利益	2,706	3,039	333	12.3%
法人税等合計	626	1,265	638	-
少数株主利益	49	48	△0	-
当期純利益	2,029	1,726	△ 303	△ 15.0%

■売上総利益■

原材料及び燃料価格の高騰などから前年比△1.5% (△777百万円) の減益。
売上総利益率は、23.3% (前年比△1.1%低下)。

■販売費及び一般管理費■

前年比△0.7% (△324百万円) 低下。対売上高比率は、21.9%と前年比△0.9%低下。
・売上高増加に伴い配送費が前年比2.8% (610百万円) 増加。
・その他は、経費削減努力により前年比△4.5% (△536百万円) 低下。

(単位:百万円)

	25年3月期	26年3月期	増減額
人件費	13,760	13,362	△ 397
配送費	21,529	22,139	610
その他	11,864	11,327	△ 536
合計	47,153	46,829	△ 324

■営業外損益■

(単位:百万円)

	25年3月期	26年3月期	増減額
受取利息・配当金	304	308	3
その他	714	575	△ 139
営業外収益合計	1,018	883	△ 135
支払利息	319	274	△ 45
その他	406	391	△ 14
営業外費用合計	725	666	△ 59

■特別損益■

(単位:百万円)

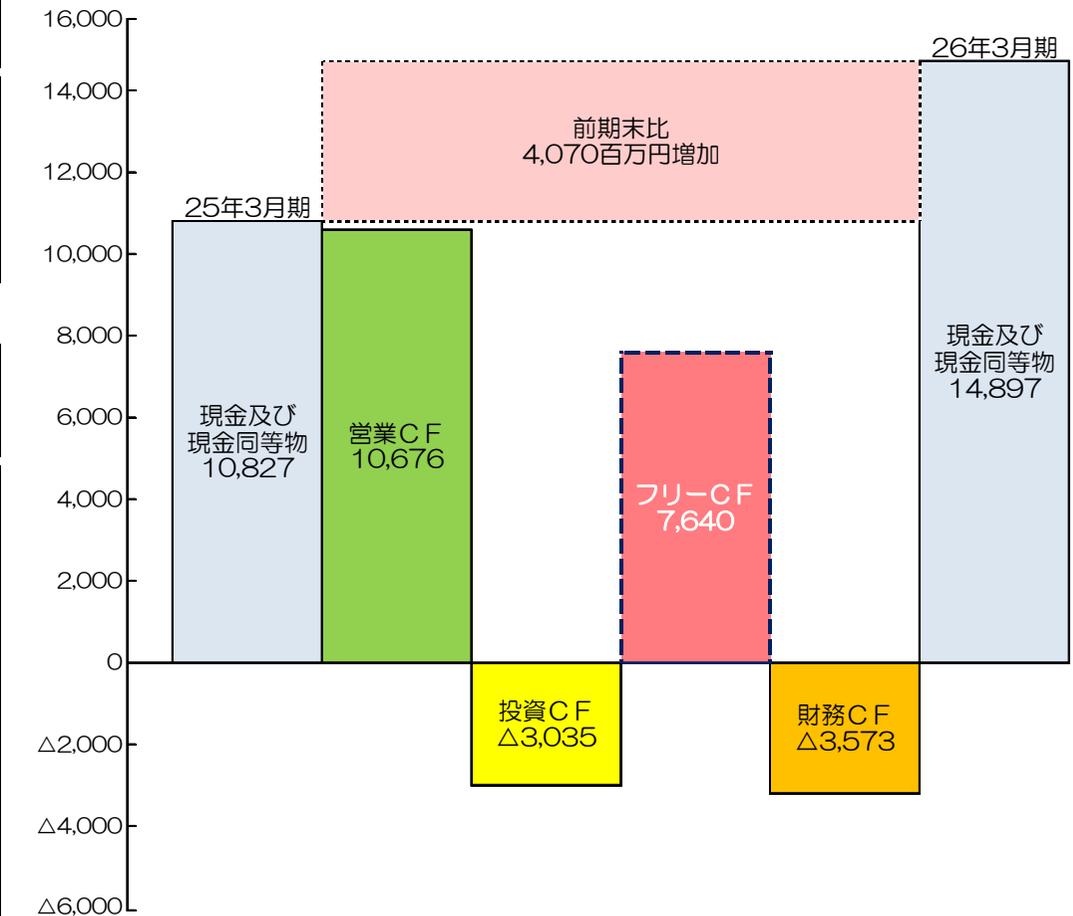
	25年3月期	26年3月期	増減額
固定資産処分益	57	77	19
投資有価証券売却益	1	460	459
特別利益合計	59	538	479
固定資産処分損	328	136	△ 192
減損損失	150	247	97
特別退職金	207	181	△ 25
製品自主回収関連費用	213	-	△ 213
その他	60	11	△ 49
特別損失合計	960	577	△ 383

平成26年3月期 キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

	25年3月期 実績	26年3月期	
		実績	対前年 増減額
営業活動によるCF	7,751	10,676	2,924
投資活動によるCF	△ 5,526	△ 3,035	2,490
フリー・キャッシュ・フロー	2,224	7,640	5,415
財務活動によるCF	△ 3,691	△ 3,573	118
現金及び現金同等物の増減額	△ 1,468	4,070	5,538
現金及び現金同等物残高	10,827	14,897	4,070

(単位:百万円)



■26年3月期キャッシュ・フロー主な内訳■

(単位:百万円)

	25年3月期 実績	26年3月期	
		実績	対前年 増減額
◆ 営業活動によるCF			
・税金等調整前当期純利益	2,706	3,039	333
・減価償却費	5,906	5,608	△ 297
・運転資金	△ 204	2,197	2,402
・その他	△ 656	△ 170	485
◆ 投資活動によるCF			
・固定資産の取得による支出	△ 5,658	△ 4,717	941
・固定資産の売却による収入	300	771	471
・その他	△ 167	910	1,078
◆ 財務活動によるCF			
・有利子負債増減	△ 2,502	△ 2,509	△ 6
・配当金の支払額	△ 1,169	△ 1,039	130
・その他	△ 19	△ 25	△ 5

※フリー・キャッシュ・フロー = 営業活動によるキャッシュ・フロー + 投資活動によるキャッシュ・フロー

■営業活動によるCF■

税金等調整前当期純利益の計上や売上債権、たな卸資産の減少による増加要因などから、10,676百万円増加。

■投資活動によるCF■

生産設備の増強・合理化、品質安定のための固定資産取得による支出などから、△3,035百万円減少。

■財務活動によるCF■

有利子負債の返済や配当金の支払いなどから、△3,573百万円減少。

平成27年3月期 次期の見通し

■通期見通し■

(単位:百万円)

	26年3月期 実績	27年3月期 計画		
		対前年 増減額	対前年 増減率	
売上高	213,678	220,000	6,321	3.0%
営業利益 (売上高比率)	2,861 (1.3%)	3,500 (1.6%)	638 (0.3%)	22.3%
経常利益 (売上高比率)	3,079 (1.4%)	3,800 (1.7%)	720 (0.3%)	23.4%
当期純利益 (売上高比率)	1,726 (0.8%)	1,750 (0.8%)	23 (0.0%)	1.4%
1株当たり 当期純利益	13.29円	13.47円	0.18円	-
1株配当	7円	7円	-	-

■セグメント別 売上高、営業利益見通し■

(単位:百万円)

	26年3月期 実績	27年3月期 計画		
		対前年 増減額	対前年 増減率	
加工食品事業	150,193	156,400	6,206	4.1%
食肉事業	63,119	63,200	80	0.1%
その他	365	400	34	9.3%
売上高	213,678	220,000	6,321	3.0%
加工食品事業 (売上高比率)	2,599 (1.7%)	3,000 (1.9%)	400 (0.2%)	15.4%
食肉事業 (売上高比率)	61 (0.1%)	300 (0.5%)	238 (0.4%)	387.7%
その他	200	200	△0	△0.3%
営業利益 (売上高比率)	2,861 (1.3%)	3,500 (1.6%)	638 (0.3%)	22.3%

(注) この資料に記述されている計画数値は本資料の発表現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって計画数値と異なる場合があります。

連結通期見通し

景気は回復基調にあるものの、消費税増税等による消費減退の懸念や、価格競争の激化、為替等の影響などにより原材料及び燃料価格の上昇が見込まれるなど、当社グループを取り巻く事業環境は、厳しい状況が続くものと思われまます。

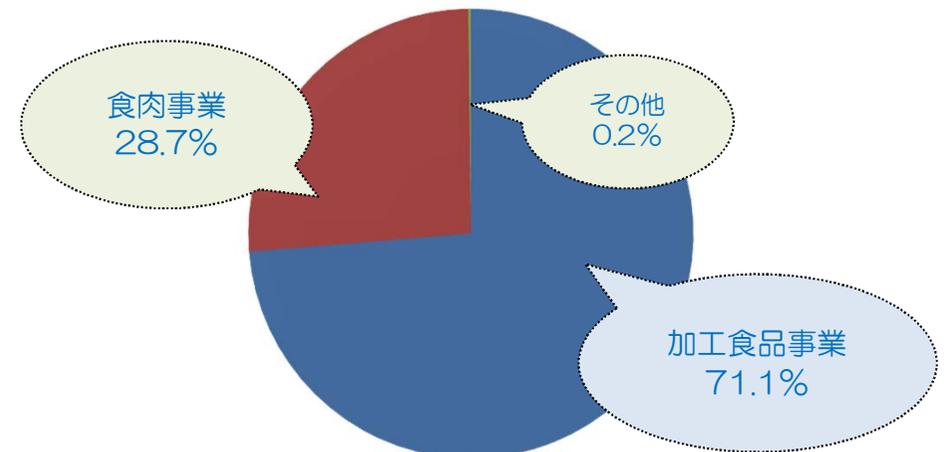
■加工食品事業■

商品開発力の強化、コスト競争力の向上を推進すると共に、積極的な販売活動の展開により、当社ブランドの育成と浸透を図り売上の拡大に努めてまいります。次期の業績は、売上高1,564億円、営業利益30億円を予想しております。

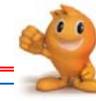
■食肉事業■

食肉全般の需給動向を的確に捉え、消費者や顧客のニーズに合致した食肉販売の推進により、売上の拡大に取り組んでまいります。次期の業績は、売上高632億円、営業利益3億円を予想しております。

セグメント別売上高構成比見通し



主力商品紹介



丸大食品食育キャラクター
「わんぱくくん」

丸大食品

丸大ギフト

加工食品

世界が認めた日本のウイナー

5度目のモンドセレクション最高金賞受賞。

くみせや **燻製屋**

72時間以上じっくり熟成させることでお肉のおいしさを最大限に引き出しています。

MONDE SELECTION 2013 GRAND GOLD AWARD

丸大食品 燻製屋 モンドセレクション最高金賞 熟成あらびき

©2008年、2009年、2010年、2012年、2013年モンドセレクション最高金賞受賞

みんなでおいしく！
バーベキューで盛り上がりよう！

丸大食品

GLANZ Frank furt

アサヒ

丸大食品

© SUNRISE/BANDAIDENTSU.TV TOKYO © BANDAI

最高金賞

王覇

丸大食品

2013 モンドセレクション 最高金賞

王覇ホワイトロースハム

2013 モンドセレクション 最高金賞

煌彩特撰ロースハム

ワイン倶楽部 WINE CLUB

丸大食品

ワイン倶楽部 WINE CLUB

ワイン倶楽部 WINE CLUB

ワイン倶楽部 WINE CLUB

スポーツする方に・・・
食べて欲しい！

アサヒ

アクティブソーセージ

丸大食品

丸大食品

煌彩

ロースハム

ホワイトロースハム

黒火焼焼豚

丸大食品

煌彩

黒火焼焼豚

丸大食品

煌彩

ハーブウルスト

調理加工食品部門

丸大食品

香辛子

ごま

生姜

美人健康食

美しさと健康は食生活から

豆乳があれはすくできる！丸大のストロップシリーズ

新味誕生

三ま豆乳 ストロップ

丸大食品

ピストロ倶楽部

ビーフカレー

51種類のフレッシュ野菜と 濃みのあるスープ

4 辛口 4 中辛 4 甘口

丸大食品

カルコンハンバーグ ミニ

お弁当にぴったり！

2個入

丸大食品

宇都宮 焼餃子

袋の香味

6個入

SWEET CAFÉ SWEET CAFÉ

ぷるぷるゼリー クリーミーソース

SWEET CAFÉ SWEET CAFÉ

紅茶ゼリー

カフェゼリー

カフェゼリー

EMIAL

ブラックタピオカ

ミルクティー

ブラックタピオカ

カフェラテ

CAFE SWEET

EMIAL

珈琲ゼリー

EMIAL

からだにげたく ヨーグルト

低糖たんぱく質 カルシウム1000mg

EMIAL

オレンジ ミックスゼリー

EMIAL

スムージー

SMOOTHIE

バナナミックス

ヨーグルト

マル大食品

本資料の記載内容には、将来に関する計画や戦略、業績の見通しの記述が含まれています。これらの記述は現時点で把握可能な情報等から得られた当社の判断に基づいております。また、これらの見通しには潜在的なリスクや不確実な要素などの要因が含まれており、実際の成果や業績は、記載の見通しとは異なる可能性があります。